

オリーブ19周年パーティー

7月20日6:00p.m.より恒例のオリーブパーティーが草津市まちづくりセンターで開かれた。恩地代表の挨拶に始まり、その後ペルー料理を楽しみ、ゲームへと。最初の伝言ゲームでは文化、習慣の違いで、例えば私達日本人では当たり前の“スキーをする”が出題されたとすると、“スキーをしたことがない人”や“スキーを見たことがない人”にとってはそれが何かわからず、“スキー”が上手く相手に伝わらず“えっ、それって何?”というような最初のスキーとは全く違うものになってしまうことがある。1つの言葉、文も10人の手を経ると全く異なるものに伝わってしまう恐さ(笑)をこのゲームから教えられた。

さて次はお待ちかねのオリーブ卒業生ジャケリン&ルベンによるペルー北部のダンス“マリネラ”。彼女たちは舞台狭しとばかりに見事に息の合った素晴らしい踊りを披露してくれた。

2つ目のゲーム“風船渡しゲーム”で盛り上がった後、フィナーレにみんなでサルサを。ルベンの指導の下、かけ声に合わせステップを踏む。初めはスローだったテンポも徐々に速くなり終わるころには皆、汗だくに。気がつけばもう8時半を超えている。

このパーティーの準備をしてくれたスタッフ

食事を作ってくれたデボラ&エミちゃん

マリネラを踊ってくれたジャケリン&ルベン

パーティーを盛り上げてくれた学習者やゲストの人たち

みんなで盛り上げたパーティー、ありがとう(^J^)

七夕飾りに込めたみんなの願いが、かないますように...











レポートとりまとめ：重松叡子